学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A0	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：細胞制御学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	武田　弘資／TAKEDA Kosuke, 谷村　進／Tanimura Susumu, 竹生田　淳／Takoda　Jun		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	武田　弘資／TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	武田　弘資／TAKEDA Kosuke, 谷村　進／Tanimura Susumu, 竹生田　淳／Takoda　Jun		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科、薬科学科　3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takeda-k@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部４階 細胞制御学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2417		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 9:00-17:00（メールで要予約：takeda-k@nagasaki-u.ac.jp）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.細胞制御学研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学修：資料を英語で作成し準備する（30分）。 事後学修：発表の質問事項などを整理する（30分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	英語学術論文等は、指導教員と相談して決めるか、本人が自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
概要	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記の1～５（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答）を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。
第1回	文献データベースの検索方法。英語論文等の構成と内容の理解（対面） A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第2回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第3回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第4回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能)
第5回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第6回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第7回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第8回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第9回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第10回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第11回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)

第12回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第13回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第14回	英語論文等の読解、英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第15回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A1	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：創薬薬理学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	金子　雅幸／Kaneko Masayuki, 塚原　完／Tsukahara Tamotsu		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	金子　雅幸／Kaneko Masayuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	金子　雅幸／Kaneko Masayuki, 塚原　完／Tsukahara Tamotsu		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬科学科、薬学科　3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-kaneko@nagasaki-u.ac.jp（金子） ttamotsu@nagasaki-u.ac.jp（塚原）		
担当教員研究室/Office	薬学部本館4階　創薬薬理学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2421（金子） 095-819-2473（塚原）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 9:00-17:00（金子） メールにて受け付けます。ttamotsu@nagasaki-u.ac.jp（塚原）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。 【薬学教育モデル・コアカリキュラム一般目標】A 基本事項（1）自己研鑽と次世代を担う人材の育成、G 薬学研究（3）研究の実践		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.医薬品情報学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A-(5)①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。
キーワード/Keywords	科学英語、英語学術論文
教科書・教材・参考書/Materials	英語学術論文等は，指導教員と相談した上で，自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	塚原　完／米国州立大学における実務経験／医薬品の開発研究、特に探索研究における講義。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	イントロダクション、学術論文データベースの概説 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第2回	研究領域に関連する学術雑誌の調査、研究領域関連の学術論文検索・調査 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第3回	研究領域に関連する学術雑誌の調査、研究領域関連の学術論文検索・調査 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第4回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第5回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第6回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第7回	学術論文紹介プレゼンテーション・質疑応答 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第8回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第9回	研究に係わる法令や・指針の調査と学修 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(2)1, 2, 3(態度)
第10回	研究に係わる法令や・指針の調査と学修 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(2)1, 2, 3(態度)

第11回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第12回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第13回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第14回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第15回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A2	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：薬化学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	田中　正一／Tanaka Masakazu, 上田　篤志／Ueda Atsushi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	田中　正一／Tanaka Masakazu		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	田中　正一／Tanaka Masakazu, 上田　篤志／Ueda Atsushi		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	matanaka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬化学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2423		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日18:00~19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.薬科学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。 合計１５時間の予習･復習		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			

受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	田中正一／国立衛生試験所（国立医薬品食品衛生研究所）厚生技官、ＰＭＤＡ医薬品名称委員会委員／有機化合物の名称、ＩＵＰＡＣ名について
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
	イントロダクション
	学術論文データベースの概説
	研究領域関連の学術論文検索・調査
	学術論文の読解1
	学術論文の読解2
	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成
	プレゼンテーション・質疑応答
	基礎実験の体験

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A3	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：薬品製造化学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	石原　淳／Ishihara Jun, 福田　隼／Hayato Fukuda, 小嶺　敬太／Komine Keita		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	石原　淳／Ishihara Jun		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	石原　淳／Ishihara Jun, 福田　隼／Hayato Fukuda, 小嶺　敬太／Komine Keita		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jishi@nagasaki-u.ac.jp（石原）、hfukuda@nagasaki-u.ac.jp（福田）		
担当教員研究室/Office	薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	819-2426（石原）、819-2427（福田）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	本演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるとともに、各研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。また、学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　□考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	資料は英語で作成し準備すること。 事前学習：資料を英語で作成し準備する（30分） 事後学習：発表の質問事項などを整理する（30分）		
キーワード/Keywords	科学英語、英語学術論文		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書；Molecules and Medicine, E.J. Corey, Barbara Czakó, László Kürti, 2007, John Wiley & Sons, Inc. なお、薬学用語辞典や化学英語の活用時点等、適宜、指導教員が指定する。英語学術論文は、指導教員と相談して決めるか、あるいは自主的に選択する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	原則的に、対面形式で実施する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日ごろから行うこと。作成した発表会の資料ファイルについては、各人でまとめておくこと。 なお、作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードすること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
概要	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記の1～５（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答）を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。 A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第１回	創薬科学に関する英文テキストの読解と問題の解答（１） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第２回	創薬科学に関する英語テキストをもととする資料検索（１） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第３回	創薬科学に関する英語学術論の読解（１） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第４回	創薬科学に関する英語学術論のプレゼンテーション・質疑応答、実験の体験（１）（英語による発信） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第５回	創薬科学に関する英文テキストの読解と問題の解答（２） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第６回	創薬科学に関する英語テキストをもととする資料検索（２） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第７回	創薬科学に関する英語学術論の読解（２） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第８回	創薬科学に関する英語学術論のプレゼンテーション・質疑応答、実験の体験（２）（英語による発信） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第９回	創薬科学に関する英文テキストの読解と問題の解答（３） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第１０回	創薬科学に関する英語テキストをもととする資料検索（３） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第１１回	創薬科学に関する英語学術論の読解（３） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第１２回	創薬科学に関する英語学術論のプレゼンテーション・質疑応答、実験の体験（３）（英語による発信） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第１３回	創薬科学に関する英文テキストの読解と問題の解答（４） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第１４回	創薬科学に関する英語テキストをもととする資料検索（４） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第１５回	創薬科学に関する英語学術論の読解（４） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)

第１６回	創薬科学に関する英語学術論のプレゼンテーション・質疑応答、実験の体験（４）（英語による発信） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A4	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：医薬品合成化学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	尾野村　治／Osamu Onomura, 栗山　正巳／Kuriyama Masami, 山本　耕介／Yamamoto Kosuke		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	尾野村　治／Osamu Onomura		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	尾野村　治／Osamu Onomura, 栗山　正巳／Kuriyama Masami, 山本　耕介／Yamamoto Kosuke		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬科学科年、薬学科　3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onomura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	医薬品合成化学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2429		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金9：00-18：00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	本演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるとともに、各研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。また、学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%）創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30 分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30 分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。		
キーワード/Keywords	科学英語，英語学術論文		
教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や化学英語の活用時点等，適宜，指導教員が指定する。英語学術論文等は，指導教員と相談して決めるか，あるいは自主的に選択する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/synchem/index-j.html https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。 作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	尾野村　治／製薬関連化学系企業における創薬及びプロセス化学研究経験／創薬やプロセス化学研究に必要な有機化学に関連付けて指導する。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
概要	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記の1～５（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答）を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 対面
1-2	他演者の発表に対するディスカッション１、 A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，C3(1)①&②（知識）、C3(2)①-③（知識）、C3(3)①-⑦（知識）、C3(4)①-④（知識・技能）、C4(3)①-⑦（知識）、G(1)-(3)（知識・技能） 対面
3-4	他演者の発表に対するディスカッション２、 A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，C3(1)①&②（知識）、C3(2)①-③（知識）、C3(3)①-⑦（知識）、C3(4)①-④（知識・技能）、C4(3)①-⑦（知識）、G(1)-(3)（知識・技能） 対面
5-6	他演者の発表に対するディスカッション３、 A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，C3(1)①&②（知識）、C3(2)①-③（知識）、C3(3)①-⑦（知識）、C3(4)①-④（知識・技能）、C4(3)①-⑦（知識）、G(1)-(3)（知識・技能） 対面
7-8	翻訳論文の選定、A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)， C3(1)①&②（知識）、C3(2)①-③（知識）、C3(3)①-⑦（知識）、C3(4)①-④（知識・技能）、C4(3)①-⑦（知識） 対面
9-10	論文の和訳・発表資料作成・質問対策（英語による発信）、 A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，C3(1)①&②（知識）、C3(2)①-③（知識）、C3(3)①-⑦（知識）、C3(4)①-④（知識・技能）、C4(3)①-⑦（知識）、G(1)-(3)（知識・技能） 対面
11-12	発表・質疑応答・問題点の抽出、 A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，C3(1)①&②（知識）、C3(2)①-③（知識）、C3(3)①-⑦（知識）、C3(4)①-④（知識・技能）、C4(3)①-⑦（知識）、G(1)-(3)（知識・技能） 対面
13-14	発表論文の実験体験、 A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，C3(1)①&②（知識）、C3(2)①-③（知識）、C3(3)①-⑦（知識）、C3(4)①-④（知識・技能）、C4(3)①-⑦（知識）、G(1)-(3)（知識・技能） 対面
15	問題点の解決、 A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，C3(1)①&②（知識）、C3(2)①-③（知識）、C3(3)①-⑦（知識）、C3(4)①-④（知識・技能）、C4(3)①-⑦（知識）、G(1)-(3)（知識・技能） 対面

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A5	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：ゲノム創薬学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	岩田　修永／Iwata Nobuhisa, 城谷　圭朗／Shirotani Keiro		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	岩田　修永／Iwata Nobuhisa		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	岩田　修永／Iwata Nobuhisa, 城谷　圭朗／Shirotani Keiro		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科、薬科学科　早期配属対象者（3 年進級時成績優秀者）		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	iwata-n@nagasaki-u.ac.jp, keiroshiro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部本館２階 ゲノム創薬学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2435		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金曜日13:00～17:00（メールで要予約）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	本演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるとともに、各研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。また、学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習（30分）： 資料は英語で作成し準備すること。どのような英語論文を選択するか、事前に情報収集すること。 事後学習（30分）： 誤訳や誤解釈を指摘された箇所は、再度調べ直して報告すること。また、、発表の質問事項などを整理し、回答をファイルを作成すること。 ※ 資料は英語で作成し準備すること		
キーワード/Keywords	科学英語，英語学術論文		
教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や科学英語の活用辞典等，適宜，指導教員が指定する。英語学術論文等は，指導教員と相談して決めるか，あるいは自主的に選択する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者（3 年進級時成績優秀者）		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は対面形式で実施します。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。 作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードすること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	岩田修永／博士研究員として国立研究開発法人理化学研究所、厚労省国立医薬品食品衛生研究所及び米国立衛生研究所(NIH)にて生化学・分子生物学分野の基礎研究を行なう実務経験／生化学・分子生物学の基本的な知識と基礎・創薬研究への応用や解析技術を養う。 城谷圭朗／博士研究員として国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、ミュンヘン大学にて、教員と大学法人長崎大学、福島県立医科大学、北海道大学にて生化学・分子生物学分野の基礎研究を行なう実務経験／生化学・分子生物学の基本的な知識と基礎・創薬研究への応用や解析技術を養う。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記の1～５（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答）を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目：A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第2回	研究領域における英語学術用語の習得 A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)グループディスカッションおよび発表を行う。
第3回	PubMedなどによる医学・薬学データベース検索およびキーワードの選択 A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)グループディスカッションおよび発表を行う。
第4回	英語論文等の構成を理解し，必要な論文かどうかの判断 A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)グループディスカッションおよび発表を行う。
第5回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)グループディスカッションおよび発表を行う。
第6回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)グループディスカッションおよび発表を行う。
第7回	英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)グループディスカッションおよび発表を行う。
第8回	英語論文等の紹介プレゼンテーション・質疑応答 A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)グループディスカッションおよび発表を行う。

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A6	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：天然物化学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	田中　隆／Tanaka Takashi, 松尾　洋介／Matsuo Yosuke, 齋藤　義紀／Saito Yoshinori		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	田中　隆／Tanaka Takashi		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	田中　隆／Tanaka Takashi, 松尾　洋介／Matsuo Yosuke, 齋藤　義紀／Saito Yoshinori		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	早期配属対象者（3 年進級時成績優秀者）		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-tanaka@naagsaki-u.ac.jp（田中　隆） saiyoshi@nagasaki-u.ac.jp（齋藤義紀）		
担当教員研究室/Office	天然物化学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2432　（田中　隆） 095-819-2433　（齋藤義紀）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時　事前にメールでアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	本演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるとともに、天然物化学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。また、学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　□考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（60%）、プレゼンテーション、質疑応答（20%）、実験見学と体験（20%）創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30 分）。事後には、発表の 質問事項などを整理する（30 分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。		
キーワード/Keywords	英語、プレゼンテーション、天然物化学、生薬学		
教科書・教材・参考書/Materials	その都度適切な教材（英語で記載された教科書や学術論文）を配布する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	対面で実施するが、必要な場合は事前に連絡の上でオンラインで実施する場合がある。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/natpro/index-j.html
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第１回	英語での情報収集と発信、情報の種類と信頼性、 学術論文の種類と構成について（事前講義）
第2回	学術論文の構成と読解のポイント
第3回	学術論文の読解（１）
第4回	学術論文の読解（２）
第5回	英語での情報収集の実践（１）
第6回	英語での情報収集の実践（２）
第7回	英語での資料作成の実践

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A7	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：機能性分子化学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	山吉　麻子／Yamayoshi Asako, 山本　剛史／Yamamoto Tsuyoshi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	山吉　麻子／Yamayoshi Asako		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	山吉　麻子／Yamayoshi Asako, 山本　剛史／Yamamoto Tsuyoshi		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科・薬科学科　3年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	山吉麻子/asakoy@nagasaki-u.ac.jp、山本剛史/tsuyoshiyamamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部本館4階　機能性分子化学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2438（山吉）、095-819-2439（山本）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00~13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.生体機能性分子化学関連研究、核酸医薬開発関連研究係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前：資料を英語で作成し準備する（30分）。 事後：発表の質問事項などを整理する（30分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。		
キーワード/Keywords	科学英語，英語学術論文		

教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や化学英語の活用辞典等、適宜、指導教員が指定する。英語学術論文等は、指導教員と相談して決めるか、あるいは自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。 （3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	山吉麻子/危険物取扱者の免許を有する教員が物理化学的視点から薬物と生体のかかわり、生命現象の解明などについて解説する。 山本剛史/調剤薬局等で薬剤師経験のある教員が特に医薬品に関連の深い物理化学の基礎について解説する。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答）を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目：A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第2回	研究領域に関連する学術雑誌類について知る。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第3回	研究領域における英語学術用語の習得（1） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第4回	研究領域における英語学術用語の習得（2） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第5回	研究領域における英語学術用語の習得（3） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第6回	SciFinderなどによる医学・薬学データベース検索およびキーワードの選択（1） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第7回	SciFinderなどによる医学・薬学データベース検索およびキーワードの選択（2） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第8回	英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断（1） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第9回	英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断（2） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第10回	英語論文等の読解（2） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)
第11回	英語論文等の読解（3） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2) D1), G(3)1), 6)（知識） A(5)①2(技能); 3(知識・技能); 4(技能); 5(知識・態度); G(3)1(知識・技能)

第12回	英語論文等の読解（4） 薬薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2)　D1)，G(3)1)，6)（知識） A(5)①2(技能)；3(知識・技能)；4(技能)；5(知識・態度)；G(3)1(知識・技能)
第13回	英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）（1） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2)　D1)，G(3)1)，6)（知識） A(5)①2(技能)；3(知識・技能)；4(技能)；5(知識・態度)；G(3)1(知識・技能)
第14回	英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）（2） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2)　D1)，G(3)1)，6)（知識） A(5)①2(技能)；3(知識・技能)；4(技能)；5(知識・態度)；G(3)1(知識・技能)
第15回	英語論文等の紹介・実験の体験 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：C6(2)　D1)，G(3)1)，6)（知識） A(5)①2(技能)；3(知識・技能)；4(技能)；5(知識・態度)；G(3)1(知識・技能)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A8	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：衛生化学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽　陽／Toriba Akira, 吉田　さくら／Yoshida Sakura, 安孫子　ユミ／Abiko Yumi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	鳥羽　陽／Toriba Akira		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	鳥羽　陽／Toriba Akira, 吉田　さくら／Yoshida Sakura, 安孫子　ユミ／Abiko Yumi		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科・薬科学科		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鳥羽　陽<toriba@nsgasaki-u.ac.jp>、安孫子　ユミ<yumi.abiko.11@nagasaki-u.ac.jp>、吉田　さくら <yoshida-s@nagasaki-u.ac.jp>		
担当教員研究室/Office	薬学部５階 衛生化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2441（鳥羽）、095-819-2442（安孫子）、095-819-2443（吉田）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 10:30-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.衛生化学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：発表資料などを英語で作成し準備する（1時間30分）。事後学習：発表の質問事項などを整理する（30分）。		
キーワード/Keywords	科学英語，英語学術論文		
教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や化学英語の活用辞典等，適宜，指導教員が指定する。英語学術論文等は，指導教員と相談して決めるか，あるいは自主的に選択する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。 作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田　さくら/厚生労働省福岡検疫所における食品衛生監視員業務（輸入食品の審査および検査，モニタリング）/衛生化学に関連した科学英語を指導する。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第１回	イントロダクション：研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、入門的な学術論文の読解方法を理解する。（対面）
第２回	学術論文データベースの概説とデータベース検索の実践（対面） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A(5)①2(技能)，3（知識・技能)，4（技能)， 5（知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第３回	研究領域における英語学術用語の習得（対面） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A(5)①2(技能)
第４回	英語論文等の構成を理解し，必要な論文かどうかの判断（対面） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A(5)①2(技能)，3（知識・技能)，4（技能)， 5（知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第５回	研究領域に関連する学術論文の読解（対面） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A(5)①2(技能)，3（知識・技能)，4（技能)， 5（知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第６回	英語論文等の読解と関連する実験の見学と体験（対面） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs： A(5)①2(技能)，3（知識・技能)，4（技能)， 5（知識・態度)，G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態
第７回	英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）（対面） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs： A(5)①2(技能)，3（知識・技能)，4（技能)， 5（知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第８回	英語論文等の紹介・質疑応答（対面） 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs： G(3)1(知識・技能)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004A9	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：薬品分析化学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	黒田　直敬／Naotaka Kuroda, 岸川　直哉／Kishikawa Naoya		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	黒田　直敬／Naotaka Kuroda		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	黒田　直敬／Naotaka Kuroda, 岸川　直哉／Kishikawa Naoya		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科、薬科学科　3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	n-kuro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬品分析化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2894		
担当教員オフィスアワー/Office hours	各教員に事前にメール等で予約を取ること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.薬品分析化学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前：資料を英語で作成し準備する（30分） 事後：発表時の質問事項などを整理する（30分）		
キーワード/Keywords	科学英語、英語学術論文		
教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や化学英語の活用時点等、適宜指導教員が指定する。英語学術論文等は、指導教員と相談して決めるか、あるいは自主的に選択する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は対面形式で実施する。 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。 英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
概要	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
各回	創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、各研究領域に関する資料を英文で作成し、発表できるようにする（英語による発信）。このほか、実験の体験を行う。以上の内容を８回実施する。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B0	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：薬物治療学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	塚元　和弘／Tsukamoto Kazuhiro，平山　達朗／Hirayama Tatsuro		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	塚元　和弘／Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	塚元　和弘／Tsukamoto Kazuhiro，平山　達朗／Hirayama Tatsuro		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科，薬科学科　3年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ktsuka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合研究棟7F・薬物治療学		
担当教員TEL/Tel	095-819-8573		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 9:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に，創薬科学・医療科学に関する薬物治療学の研究領域の英語技術用語を習得し，英語の論文やテキストを読解し，その内容を要約して説明できるようにする。また，英語による学術情報の収集，英語で資料作成，発表，質疑応答を行うなどして，グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。 【薬学教育モデルコア・カリキュラム一般目標】 A 基本事項 -(1)自己研鑽と次世代を担う人材の育成 G 研究の実践 -(1)薬学における研究の位置づけ；-(3)研究の実践		
授業到達目標/Course goals	1．創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し，その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解して解説できる。（薬学科DP3-4，薬科学科DP4-6） 2．薬物治療学の研究領域に係る簡単な英作文ができる。（薬学科DP7，薬科学科DP6） 3．学術論文の理解を深めるため，必要に応じて見学と体験を通して基本的な実験が実施できる。（薬学科DP4,6，薬科学科DP5,7）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況(35%)，プレゼンテーションと質疑応答(35%)，実験見学と体験(30%)で評価する。 創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し，その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し，解説できるかどうかは，学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション，質疑応答により評価する。各研究領域に係る簡単な英作文ができるようになるかどうかは，プレゼンテーションにより評価する。評価には薬学部共通のルーブリック評価表を用いる。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	資料を英語で作成し準備すること(30分以上)。事後には，発表の質問事項などを整理すること(30分以上)。資料は英語で作成すること。		
キーワード/Keywords	科学英語，英語科学論文		

教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や化学英語の活用時点等，適宜，指導教員が指定する。英語科学論文等は指導教員と相談して決めるか，あるいは自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。
アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	作成した発表会の資料ファイルについてはポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1回目	自分の研究領域における英語学術用語を習得する。
2回目	MEDLINE等における医学・薬学データベース検索におけるキーワードなど用いた検索を行う。
3回目	英語論文等の構成を理解し，自分の実験に必要な論文かどうかを判断する。
4回目	同じ研究班の先輩の実験を見学する。
5回目	見学後に自分の実験に必要な論文かを再検討する。
6回目	英語論文等の紹介資料のプレゼンテーションとその後の質疑応答を行う。
7回目	英語論文等を読解する。
8回目	英語論文等を読解する。
9回目	同じ研究班の先輩の実験を体験することで，英語論文の方法論の理解を深める。
10回目	同じ研究班の先輩の実験を体験することで，英語論文の方法論の理解を深める。
11回目	英語論文等を読解する。
12回目	英語論文等の紹介資料を作成する。（英語による発信）
13回目	英語論文等の紹介資料を作成する。（英語による発信）
14回目	英語による紹介資料について指導教員と議論する。
15回目	英語論文等の紹介資料をプレゼンテーションし，その後に質疑応答を行う。

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Oth. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B1	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：医薬品情報学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	川上　茂／Kawakami Shigeru, 向井　英史／Mukai Hidefumi		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	川上　茂／Kawakami Shigeru		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	川上　茂／Kawakami Shigeru, 向井　英史／Mukai Hidefumi		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬科学科、薬学科　3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skawakam@nagasaki-u.ac.jp（川上） hmukai@nagasaki-u.ac.jp（向井）		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-8563（川上） 095-819-8564（向井）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	13:00～17:00（事前にE-mailで予約すること）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。 【薬学教育モデル・コアカリキュラム一般目標】A 基本事項（1）自己研鑽と次世代を担う人材の育成、G 薬学研究（3）研究の実践		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.医薬品情報学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A-(5)①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。
キーワード/Keywords	科学英語、英語学術論文
教科書・教材・参考書/Materials	英語学術論文等は，指導教員と相談した上で，自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	向井英史（第1-15回）／博士研究員・研究室主宰者として国立研究開発法人理化学研究所にてドラッグデリバリーシステムや分子イメージング科学分野の基礎研究を行ってきた実務経験に基づいて講義を行う。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	イントロダクション、学術論文データベースの概説 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第2回	研究領域に関連する学術雑誌の調査、研究領域関連の学術論文検索・調査 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第3回	研究領域に関連する学術雑誌の調査、研究領域関連の学術論文検索・調査 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第4回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第5回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第6回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第7回	学術論文紹介プレゼンテーション・質疑応答 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第8回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第9回	研究に係わる法令や・指針の調査と学修 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(2)1, 2, 3(態度)
第10回	研究に係わる法令や・指針の調査と学修 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(2)1, 2, 3(態度)
第11回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)

第12回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第13回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第14回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第15回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B2	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：薬剤学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	西田　孝洋／Nishida Koyo, 麓　伸太郎／Fumoto Shintaro, 宮元　敬天／Hirotaka Miyamoto		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	西田　孝洋／Nishida Koyo		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	西田　孝洋／Nishida Koyo, 麓　伸太郎／Fumoto Shintaro, 宮元　敬天／Hirotaka Miyamoto		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬科学科3年、薬学科3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koyo-n@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬剤学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー/Office hours	13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。 【薬学教育モデル・コアカリキュラム一般目標】A 基本事項（1）自己研鑽と次世代を担う人材の育成、G 薬学研究（3）研究の実践		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.薬剤学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A-(5)①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。		
キーワード/Keywords	科学英語、英語学術論文		

教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や化学英語の活用辞典等，適宜，指導教員が指定する。英語学術論文等は，指導教員と相談して決めるか，あるいは自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は対面形式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリット型で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	宮元 敬天/長崎大学病院での薬剤師実務経験/薬剤師としての臨床経験に基づき研究を指導する。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記の1～５（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答）を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第2回	イントロダクション（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第3回	科学英語ボキャブラリー1（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第4回	科学英語ボキャブラリー2（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第5回	科学英語のリーディング1（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第6回	科学英語のリーディング2（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第7回	科学英語のリーディング3（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第8回	科学英語のリーディング4（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。

第9回	科学英語のリーディング5（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第10回	科学英語のリーディング6（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。実験を体験する。
第11回	科学英語の英作文1（英語による発信）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第12回	科学英語の英作文2（英語による発信）（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) グループディスカッションおよび発表を行う。
第13回	研究に係わる法令や・指針の調査と学修（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(2)1，2，3(態度)
第14回	研究の体験1：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第15回	研究の体験2：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める（対面）担当：西田孝洋・麓伸太郎・宮元敬天 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B3	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：実践薬学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	中嶋　幹郎／Nakashima Mikirou, 中嶋　幹郎／Nakashima Mikirou, 黒崎　友亮／Kurosaki Tomoaki, 岩田　希美		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	中嶋　幹郎／Nakashima Mikirou		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	中嶋　幹郎／Nakashima Mikirou, 中嶋　幹郎／Nakashima Mikirou, 黒崎　友亮／Kurosaki Tomoaki, 岩田　希美		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科（必修）		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	中嶋（mikirou@nagasaki-u.ac.jp）、黒崎（kurosaki@nagasaki-u.ac.jp）、相原（nozomi-ai@nagasaki-u.ac.jp）		
担当教員研究室/Office	歯学部本館7階 実践薬学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8570、095-819-8569		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 9:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	創薬科学・医療科学に関する各研究領域の基礎的な英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。 【薬学教育モデル・コアカリキュラム一般目標】 A「基本事項」（5）自己研鑽と次世代を担う人材の育成、G「薬学研究」（3）研究の実践		
授業到達目標/Course goals	1. 学生は本演習によって、創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるようになる。（薬学科DP3-4） 2. 学生は本演習によって、各研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。（薬学科DP7） 3. 学生は本演習によって、学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる。（薬学科DP4,6） 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35点）＋プレゼンテーションと質疑応答の内容（35点）＋実験見学と体験（30点）＝合計100点のうち60点以上を合格とする。 創薬科学・医療科学に関する各研究領域の基礎的な英語技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。各研究領域に係る簡単な英作文ができるようになるかどうかは、プレゼンテーションにより評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。評価の際には、薬学部共通のルーブリック評価表を用いる。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する。（1h） 事後には、発表の質問事項などを整理する。（1h）
キーワード/Keywords	科学英語、英語学術論文
教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典などの英語教材等、適宜、指導教員が指定する。英語学術論文等は、指導教員と相談して決めるか、あるいは自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は対面形式で実施しますが、オンラインを一部併用します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合はLACSで通知します。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。 なお、作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードすること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中嶋　幹郎／黒崎　友亮／2名とも長崎大学病院での薬剤師としての実務経験／臨床経験に基づき、医療薬学に関する各研究領域の英語論文の指導を行う。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
概要	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記の1～6（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答、実験の体験）を繰り返す。その過程で研究領域における基礎的な英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。
第1回	各研究室に配属され、指導教員のもと設定された課題実験に関して、それに係る英語論文やテキストにより情報を収集し、これを読解し、説明するとともに、自身の実験に関する簡単な英語資料を作成し紹介する。（英語による発信） そして実験見学と体験に取り組む。 課題となる英語論文やテキストは初期には指導教員と相談（対面及び遠隔）の上決定するが、最終的には自身の実験計画に従い、自主的に選択する。それらを読解し、その内容紹介のため簡単な英語資料を作成し、セミナー等で報告する。 そして実験見学と体験に取り組む。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度） 対面（ただし一部はオンラインも併用）
第2回	1）各研究領域における英語学術用語の習得、2）MEDLINE 等における医学・薬学データベース検索におけるキーワードなど用いた検索、3）英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断、4）英語論文等の読解、5）英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）、6）英語論文等の紹介、7）実験見学と体験等を繰り返して行う。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度） 対面（ただし一部はオンラインも併用）
第3回	1）各研究領域における英語学術用語の習得、2）MEDLINE 等における医学・薬学データベース検索におけるキーワードなど用いた検索、3）英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断、4）英語論文等の読解、5）英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）、6）英語論文等の紹介、7）実験見学と体験等を繰り返して行う。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度） 対面（ただし一部はオンラインも併用）

第4回	1）各研究領域における英語学術用語の習得、2）MEDLINE 等における医学・薬学データベース検索におけるキーワードなど用いた検索、3）英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断、4）英語論文等の読解、5）英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）、6）英語論文等の紹介、7）実験見学と体験等を繰り返して行う。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度） 対面（ただし一部はオンラインも併用）
第5回	1）各研究領域における英語学術用語の習得、2）MEDLINE 等における医学・薬学データベース検索におけるキーワードなど用いた検索、3）英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断、4）英語論文等の読解、5）英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）、6）英語論文等の紹介、7）実験見学と体験等を繰り返して行う。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度） 対面（ただし一部はオンラインも併用）
第6回	1）各研究領域における英語学術用語の習得、2）MEDLINE 等における医学・薬学データベース検索におけるキーワードなど用いた検索、3）英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断、4）英語論文等の読解、5）英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）、6）英語論文等の紹介、7）実験見学と体験等を繰り返して行う。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度） 対面（ただし一部はオンラインも併用）
第7回	1）各研究領域における英語学術用語の習得、2）MEDLINE 等における医学・薬学データベース検索におけるキーワードなど用いた検索、3）英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断、4）英語論文等の読解、5）英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）、6）英語論文等の紹介、7）実験見学と体験等を繰り返して行う。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度） 対面（ただし一部はオンラインも併用）
第8回	1）各研究領域における英語学術用語の習得、2）MEDLINE 等における医学・薬学データベース検索におけるキーワードなど用いた検索、3）英語論文等の構成を理解し、必要な論文かどうかの判断、4）英語論文等の読解、5）英語論文等の紹介資料の作成（英語による発信）、6）英語論文等の紹介、7）実験見学と体験等を繰り返して行う。 薬学教育モデルコアカリキュラムSBOs：A（5）①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G（2）1、2、3（態度）、G（3）1（知識・技能）、2（知識・技能）、3（技能・態度）、4（知識・技能。態度） 対面（ただし一部はオンラインも併用）

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B4	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：分子病態化学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大山　要／Ohyama Kaname, 兒玉　幸修／Kodama Yukinobu		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	大山　要／Ohyama Kaname		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	大山　要／Ohyama Kaname, 兒玉　幸修／Kodama Yukinobu		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	大山　要：k-ohyama@nagasaki-u.ac.jp 兒玉幸修：y-kodama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	分子病態化学（病院薬剤部）		
担当教員TEL/Tel	大山　要：095-819-7245 兒玉幸修：095-819-7246		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金：9:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.各研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　□考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。|アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先|（TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948|（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	大山 要／兒玉 幸修／2名とも長崎大学病院での薬剤師としての実務経験／臨床経験に基づき、臨床化学に関する各研究領域の英語論文の指導を行う。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
4/14	イントロダクション
4/21	学術論文データベースの概説
4/28	研究領域関連の学術論文検索・調査
5/19	学術論文の読解1
5/26	学術論文の読解2
6/2	学術論文の読解3
6/9	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成
6/16	学術論文紹介プレゼンテーション・質疑応答

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B5	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：薬用植物学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	山田　耕史／Yamada Koji		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	山田　耕史／Yamada Koji		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	山田　耕史／Yamada Koji		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬用植物学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2462		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日　１０：００～１８：００		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.生薬・天然物化学研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。		
キーワード/Keywords	文献検索、論文読解、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Materials	パートナー天然物化学（南江堂）		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回目	イントロダクション
第2回目	学術論文データベースの概説
第3回目	研究領域関連の学術論文検索・調査
第4回目	学術論文の読解
第5回目	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成
第6回目	学術論文紹介プレゼンテーション・質疑応答
第7回目	実験の体験

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B6	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：臨床研究薬学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	都田　真奈／Mana Miyakoda, 北里　海雄／Kitazato Kaio		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	都田　真奈／Mana Miyakoda		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	都田　真奈／Mana Miyakoda, 北里　海雄／Kitazato Kaio		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科３年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	都田真奈 mana-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	臨床研究薬学研究室		
担当教員TEL/Tel	都田真奈　095-819-2456		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日 9:00-17:00 面談およびメールにて対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.感染免疫学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。		
キーワード/Keywords	科学英語，英語学術論文		
教科書・教材・参考書/Materials	各種参考書や英語文献の中から指導教員の推奨に従って適宜選択する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/research/rsh_mpia.html 授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pd
学生へのメッセージ/Message for students	作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	北里海雄／研究所にて遺伝子治療用ベクターなどのバイオ医薬品開発の実務経験／ウイルス感染の免疫反応や、腫瘍免疫などについて、ウイルス由来遺伝子治療用ベクターを用いた治療の課題などについて免疫反応などの講義内容に合わせて紹介している。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	イントロダクション まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第2回	学術論文データベースの概説 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第3回	研究領域関連の学術論文検索・調査 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第4回	研究領域関連の学術論文検索・調査 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第5回	研究領域関連の学術論文の読解 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第6回	研究領域関連の学術論文の読解 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第7回	研究領域関連の学術論文の読解 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第8回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成（英語による発信） A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第9回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成（英語による発信） A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第10回	学術論文紹介プレゼンテーション・質疑応答 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第11回	研究倫理やおよび研究に関連する法令等の学修 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第12回	研究倫理やおよび研究に関連する法令等の学修 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)

第13回	実験の体験 G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第14回	実験の体験 G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第15回	実験の体験 G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B7	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：ウイルス感染症学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	都田　真奈／Mana Miyakoda, 南保　明日香, 好井　健太朗, 安田　二朗／Yasuda Jiro, 浦田　秀造／Urata Shiyuzo		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	都田　真奈／Mana Miyakoda		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	都田　真奈／Mana Miyakoda, 南保　明日香, 好井　健太朗, 安田　二朗／Yasuda Jiro, 浦田　秀造／Urata Shiyuzo		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	３年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	都田真奈：mana-t@nagasaki-u.ac.jp 安田二朗：j-yasuda@nagasaki-u.ac.jp 南保明日香：nanboa@nagasaki-u.ac.jp 好井健太朗：kyoshii@nagasaki-u.ac.jp 浦田秀造：shuzourata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	臨床研究薬学：都田真奈 ウイルス感染症学：安田二朗、南保明日香、好井健太朗、浦田秀造		
担当教員TEL/Tel	都田真奈　095-819-2456		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日 9:00-17:00 面談およびメールにて対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。 【薬学教育モデル・コアカリキュラム一般目標】A 基本事項（1）自己研鑽と次世代を担う人材の育成、G 薬学研究（3）研究の実践		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.ウイルス学研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。
キーワード/Keywords	科学英語，英語学術論文
教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や化学英語の活用時点等，適宜，指導教員が指定する。 英語学術論文等は，指導教員と相談して決めるか，あるいは自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。
備考（URL）/Remarks (URL)	https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/research/rsh_mpia.html 授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。 作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	安田二朗／博士研究員としてアラバマ大学にてウイルス学研究の実務経験／ウイルスやウイルス感染症の基本的な知識と研究・解析技術等を指導する、浦田秀造／博士研究員として米国スクリプス研究所にてウイルス学研究の実務経験／ウイルスやウイルス感染症の基本的な知識と研究・解析技術等を指導する

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	イントロダクション まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第2回	学術論文データベースの概説 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第3回	研究領域関連の学術論文検索・調査1 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第4回	研究領域関連の学術論文検索・調査2 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第5回	研究領域関連の学術論文の読解1 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第6回	研究領域関連の学術論文の読解2 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第7回	研究領域関連の学術論文の読解3 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)

第8回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成（英語による発信）1 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第9回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成（英語による発信）2 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第10回	学術論文紹介プレゼンテーション・質疑応答 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第11回	研究倫理やおよび研究に関連する法令等の学修1 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第12回	研究倫理やおよび研究に関連する法令等の学修2 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第13回	実験の体験1 G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第14回	実験の体験2 G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第15回	実験の体験3 G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B8	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：フロンティア口腔科学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	都田　真奈／Mana Miyakoda, 門脇　知子／KADOWAKI Tomoko, 佐藤　啓子／SATO Keiko		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	都田　真奈／Mana Miyakoda		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	都田　真奈／Mana Miyakoda, 門脇　知子／KADOWAKI Tomoko, 佐藤　啓子／SATO Keiko		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	3年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	都田真奈：mana-t@nagasaki-u.ac.jp 門脇知子：tomokok@nagasaki-u.ac.jp 佐藤啓子：satou@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	臨床研究薬学：都田真奈 フロンティア口腔科学：門脇知子、佐藤啓子		
担当教員TEL/Tel	都田真奈　095-819-2456		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日 9:00-17:00 面談およびメールにて対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。 【薬学教育モデル・コアカリキュラム一般目標】A 基本事項（1）自己研鑽と次世代を担う人材の育成、G 薬学研究（3）研究の実践		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目：A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。
キーワード/Keywords	科学英語，英語学術論文
教科書・教材・参考書/Materials	薬学用語辞典や化学英語の活用時点等，適宜，指導教員が指定する。 英語学術論文等は，指導教員と相談して決めるか，あるいは自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。
備考（URL）/Remarks (URL)	https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/research/rsh_mpia.html https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	英語学術論文等を読むのに必要な語彙を広げる努力を日頃から行うこと。 作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	イントロダクション まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第2回	学術論文データベースの概説 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第3回	研究領域関連の学術論文検索・調査 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第4回	研究領域関連の学術論文検索・調査 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第5回	研究領域関連の学術論文の読解 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第6回	研究領域関連の学術論文の読解 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第7回	研究領域関連の学術論文の読解 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)
第8回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成（英語による発信） A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3)１(知識・技能)

第9回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成（英語による発信） A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第10回	学術論文紹介プレゼンテーション・質疑応答 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第11回	研究倫理やおよび研究に関連する法令等の学修 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第12回	研究倫理やおよび研究に関連する法令等の学修 A(5)①1（態度），2（技能），3（知識・技能），4（技能），5（知識・技能）、A(5)④1(態度)，2（技能・態度）、 G(1) 1，2，3（知識・技能），4(知識・技能・態度)、G(3) 1 (知識・技能)
第13回	実験の体験 G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第14回	実験の体験 G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第15回	実験の体験 G(2)1,2,3(態度)，G(3)1(知識・技能)，2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Oth. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004B9	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：神経回路生物学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	金子　雅幸／Kaneko Masayuki, 有賀　純／ARUGA Jun, 藤田　和歌子／Fujita Wakako		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	金子　雅幸／Kaneko Masayuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	金子　雅幸／Kaneko Masayuki, 有賀　純／ARUGA Jun, 藤田　和歌子／Fujita Wakako		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬科学科、薬学科　3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aruga@nagasaki-u.ac.jp（有賀） wakakofu@nagasaki-u.ac.jp（藤田）		
担当教員研究室/Office	医学部基礎棟4階　神経回路生物学（医科薬理学）		
担当教員TEL/Tel	095-819-7043		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:00-17:00　（月ー金）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。 【薬学教育モデル・コアカリキュラム一般目標】A 基本事項（1）自己研鑽と次世代を担う人材の育成、G 薬学研究（3）研究の実践		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、神経生物学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.医薬品情報学領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A-(5)①2（技能）、3（知識・技能）、4（技能）、5（知識・態度）、G(2)1,2,3(態度), G(3)1(知識・技能), 2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。
キーワード/Keywords	科学英語、英語学術論文
教科書・教材・参考書/Materials	英語学術論文等は，指導教員と相談した上で，自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム ：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	作成した発表会の資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	有賀純（第1-15回）／研究室主宰者として国立研究開発法人理化学研究所にて神経生物学分野の基礎研究を行ってきた実務経験に基づいて講義を行う。

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	イントロダクション、学術論文データベースの概説 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第2回	研究領域に関連する学術雑誌の調査、研究領域関連の学術論文検索・調査 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第3回	研究領域に関連する学術雑誌の調査、研究領域関連の学術論文検索・調査 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第4回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第5回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第6回	学術論文の読解 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第7回	学術論文紹介プレゼンテーション・質疑応答 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第8回	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第9回	研究に係わる法令や・指針の調査と学修 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(2)1, 2, 3(態度)
第10回	研究に係わる法令や・指針の調査と学修 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(2)1, 2, 3(態度)
第11回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)

第12回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第13回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第14回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)
第15回	研究の体験：見学と体験を通して基本的な実験を実施し、学術論文の理解を深める 薬学教育モデル・コアカリキュラム到達目標を含む項目： G(3)2(知識・技能)、3(技能・態度)、4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004C0	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：先端創薬学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	武田　弘資／TAKEDA Kosuke, 田中　義正／Tanaka Yoshimasa		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	武田　弘資／TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	武田　弘資／TAKEDA Kosuke, 田中　義正／Tanaka Yoshimasa		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科、薬科学科　3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takeda-k@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部４階 細胞制御学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2417		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 9:00-17:00（メールで要予約：takeda-k@nagasaki-u.ac.jp）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.先端創薬学研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学修：資料を英語で作成し準備する（30分）。 事後学修：発表の質問事項などを整理する（30分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	英語学術論文等は、指導教員と相談して決めるか、本人が自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
概要	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記の1～５（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答）を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。
第1回	文献データベースの検索方法。英語論文等の構成と内容の理解（対面） A(5)①2(技能), 3(知識・技能), 4(技能), 5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第2回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第3回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能)
第4回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能)
第5回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第6回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第7回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第8回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第9回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第10回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第11回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)

第12回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第13回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第14回	英語論文等の読解、英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能), 3(知識・技能),5(知識・態度), G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)
第15回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度), G(3)2(知識・技能), 3(技能・態度), 4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Oth. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004C1	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：分子標的医学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	武田　弘資／TAKEDA Kosuke, 益谷　美都子／Masutani Mitsuko, 大滝　大樹／Otaki Hiroki		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	武田　弘資／TAKEDA Kosuke		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	武田　弘資／TAKEDA Kosuke, 益谷　美都子／Masutani Mitsuko, 大滝　大樹／Otaki Hiroki		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	薬学科、薬科学科　3年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takeda-k@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬学部４階 細胞制御学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2417		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 9:00-17:00（メールで要予約：takeda-k@nagasaki-u.ac.jp）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.分子標的医学研究領域に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学修：資料を英語で作成し準備する（30分）。 事後学修：発表の質問事項などを整理する（30分）。 ※ 資料は英語で作成し準備すること。		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	英語学術論文等は、指導教員と相談して決めるか、本人が自主的に選択する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	授業は原則対面形式で実施する。最初の回に授業計画を説明するが、状況によって変更する場合はLACSで通知する。 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	

授業計画詳細／Course Schedule

回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
概要	まず研究領域に関連する学術雑誌類についての知識を得たのち、下記の1～５（文献調査、論文の読解、資料作成、紹介と質疑応答）を繰り返す。その過程で研究領域における英語学術用語を習得し、論文読解力をつけ、英語で発信する素養を身に付ける。
第1回	文献データベースの検索方法。英語論文等の構成と内容の理解（対面） A(5)①2(技能)，3(知識・技能)，4(技能)，5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第2回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第3回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能)
第4回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能)
第5回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第6回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第7回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第8回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第9回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第10回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第11回	英語論文等の読解 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)

第12回	英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第13回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第14回	英語論文等の読解、英語論文等の紹介資料の作成 A(5)①2(技能)，3(知識・技能),5(知識・態度)，G(3)1(知識・技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)
第15回	英語論文等の紹介（対面） A(5)①4(技能) 実験の体験（対面） G(2)1,2,3(態度)，G(3)2(知識・技能)，3(技能・態度)，4(知識・技能・態度)

学期／Semester	2023年度／Academic Year　前期／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／0th. 0
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	選択／elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0//
時間割コード／Time schedule code	202330230004C2	科目番号／Course code	30230004
科目ナンバリングコード／Numbering code	PHPH 47021_793		
授業科目名／Course title	基礎科学英語：薬品構造解析学／Exercise Academic Basic English for Pharmaceutical Sciences		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	真木　俊英／Maki Toshihide		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	真木　俊英／Maki Toshihide		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	真木　俊英／Maki Toshihide		
科目分類／Course Category	演習科目／Seminar		
対象年次／Intended year	3	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	〔薬学〕各担当教員研究室／Laboratory		
対象学生（クラス等）　/Intended year (class)	３年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	maki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	薬品構造解析学		
担当教員TEL/Tel	095-819-2465		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日9:00~10:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	早期配属対象者を対象に、創薬科学・医療科学に関する各研究領域の英語技術用語を習得し、英語の論文やテキストを読解し、その内容を要約して説明できるようにする。また、英語による学術情報の収集、英語で資料作成、発表、質疑応答を行うなどして、グローバルに活躍する研究者としての素養を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	1.演習によって、創薬科学・医療科学に関する技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できる。 2.薬品構造解析学に係る簡単な英作文ができるようになる。 3.学術論文の理解を深めるため、必要に応じ、見学と体験を通して基本的な実験が実施できるようになる（薬学科DP3-7、薬科学科DP4-7）。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（１つ以上３つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence　□倫理観／Ethics　□多様性の理解／Understanding Diversity　□主体性／Autonomy　□協働性／Cooperativeness　■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas　■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	□A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	学生の課題に対する積極的な取組み状況（35%）、プレゼンテーション、質疑応答（35%）、実験見学と体験（30%） 創薬科学・医療科学に関する基礎的な技術用語を習得し、その知識を活用して英語学術論文やテキストを理解し、解説できるかどうかは、学生の課題に対する積極的な取組み状況とプレゼンテーション、質疑応答により評価する。実験見学と体験は取り組み状況や態度により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前には、資料を英語で作成し準備する（30分）。事後には、発表の質問事項などを整理する（30分）。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件（履修条件）/Prerequisites	早期配属対象者であること。（3年進級時成績優秀者表彰された学生＝２年次後期末時点の薬学独自スコアで、各学科上位約１０％程度）		

アクセシビリティ/Accessibility（for students with disabilities)	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　　（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL)	https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。 薬学教育モデル・コアカリキュラム　：https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/student/pdf/H25modelcore.pdf 対面講義
学生へのメッセージ/Message for students	作成した資料ファイルについては、ポートフォリオに随時アップロードしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y／N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	真木俊英/米国ミネソタ大学、マサチューセッツ工科大学において、化学合成と機能性分子開発経験/　創薬プロセス、および構造活性相関の視点から指導する。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
1	イントロダクション
2	学術論文データベースの概説
3	研究領域関連の学術論文検索・調査、学術論文の読解
4	学術論文の読解
5	学術論文の読解２
6	学術論文紹介用プレゼンテーションの資料作成
7	プレゼンテーション・質疑応答
8	実験の体験